

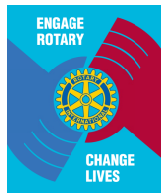
2013-14年度 国際ロータリーテーマ

ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

R I 会長 ロンド・バートン

3月は識字率向上月間です。

国際ロータリー 第2580地区
2013-14年度 ガバナー 吉田 建二



第2028回
例会
2014. 3. 5

創立50周年を目指し、
新しい一歩を踏み出そう

東京武蔵村山ロータリークラブテーマ
第42代クラブ会長 田中 伸彦

本日の例会
全員クラブ協議会

次回例会案内 【3月12日(水)】

卓話 職業奉仕委員会

第2027回例会報告

(2014年2月26日)

司会 比留間 重次 SAA (会場運営委員)

点 鐘

(比留間 孝司 副会長)

幹事報告

(酒寄 好夫 幹事)

斉 唱

奉仕の理想
ソングリーダー (内野 均 会員)

- ロータリーレート3月1ドル102円 (現行通り)
- 高松南RCより
例会への参加の呼びかけが届いています。
- 2013年度手続き要覧が届いています。

来客紹介

(比留間 孝司 副会長)

出席報告

(見延 壽昭 会場運営委員長)

○ゲスト

藤本 誠一 様 (卓話講師)
<地区社会奉仕委員長・東久留米RC>

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	24名	82.76%	86.21%→89.66%

会務報告

(比留間 孝司 副会長)

- 2016~2017年度 地区ガバナーノミネーテッドグネット決定
 - ・武蔵野中央RC 上山 昭治 様
- 地区大会の礼状が届いています。
- 第19回日本青少年交換研究会・福島会議の案内
 - ・5月24日(土)・25日(日)
 - ・ホテルリステル猪苗代
 - ・登録料 10,000円
 - ・懇親会 4,000円
- ハイライトよねやま167号が届いています。
- 現・新合同分区分連絡会の案内
 - ・4月13日 14:00受付 14:30開会
 - ・ホテル小暮 (伊香保温泉)
 - ・14日 親睦ゴルフ (伊香保カントリークラブ)

- メイクアップ 第2025回例会
志々田 陽介 会員 (新入会員昼食会)
- 出席免除会員
栗原 高明 会員 榎本 昭 会員
齊藤 孝喜 会員 (検査入院)



卓 話



地区会奉仕委員長
藤本 誠一 様



委員会報告

○創立40周年記念式典収支報告 清水 高彦 創立40周年実行委員長

収入 5,494,820円、支出 5,105,718円 差引 1,389,102円⇒クラブ周年基金へ繰り越します。

○波多野 晃夫 米山奨学生カウンセラー

2013学年度米山奨学生期間終了式が2月20日京王プラザホテルで実施されました。当クラブ米山奨学生のアハメド・エムディ・パルペジ君は体調不良で欠席。終了証書授与とカウンセラーに対し感謝状の授与が取り行われました。

○開設60周年記念式典のご案内 西武信用金庫 村山支店 小林 邦雄 支店長

日時：平成26年3月25日（火）17:30～

場所：フォレストイン昭和館

講演会講師：広澤克実氏（元プロ野球選手）

卓 話

地区社会奉仕委員長 藤本 誠一 様

*ロータリー希望の風奨学金 ～趣旨～

東日本大震災で両親または片親を亡くした遺児たち（大学生、短大生、専門学校生）に奨学金を月額5万円給付するプログラム

※1 返済の必要はない。

※2 資金の続く限り継続する

*経緯

- ・2010～2011年度ガバナー会は、2011.3.11東日本大震災発生直後に義援金募集をスタート。4ヵ月で、約10億円が集まる。
- ・被災5地区と非被災5地区（青森・岩手宮城“同一地区”・福島・茨城・千葉県）のガバナー10名で東日本大震災支援検討委員会（後に東日本大震災支援委員会に改名）を発足させ、12%を被災地区に見舞金として手分配し残金約8億7千万円の用途を検討。

*2010～2011：ガバナー会の意見と結論

- 1) 即刻すべての義援金を地区に分配する。
 - 2) 長岡藩士小林虎三郎の「米100俵」に学び、一括して委員会主導で、「ロータリーらしい青少年支援の道」を探る。
- ・以上2案が、被災地区から意見として出され、ガバナー会は、2) を選び検討に入り年度を終えた。

*2011～2012：支援委員会の対応

- ・2011～2012年度ガバナー会は、このプログラムに消極的だったため、賛同地区のみでこのプロジェクトを推進し、非賛同地区からの義援金は返金し、残った約3億円でこのプロジェクトはスタートすることとなる。
- ・RI理事会は多地区合同活動としてこのプログラムを承認。（多地区合同項目の緩和）
- ・ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会発足⇒「ロータリー希望の風奨学金」プログラム、スタート。

*日台ロータリー親善会議からの義援金

- ・ロータリー親善会議より日台国際扶輪親善会議からこのプログラムに1億2340万円の高額な支援金が寄せられ、当初約3億円でスタートした奨学金は4億2千万円を超え、8年間は継続可能になった。

*遺児たちの進学環境

- ・「みちのく未来基金」（カコメ(株)・カルビー(株)・ロート製薬(株)の3企業連合基金) 大学生・専門学校生の授業料全額負担制度。
- ・各県育英制度 月額3～5万円給付する制度。
- ・「ロータリー希望の風奨学金」 大学生・短大生・専門学校生に入学してから卒業するまでの間、月5万円給付。返済は求めず。 ※日本の母子家庭の平均年収は140万円台。

*奨学金制度の情報伝達

- ・被災県の教育委員会→自治体教育委員会→各公立・私立高等学校長
- ・「ロータリー希望の風奨学金」ホームページ ※委員長は上野操2580地区バスターガバナー。 ※事務局は2580地区ガバナー事務所内に設置。 ※実務：銚子事務局(総括)・飛騨事務局(口座管理等)

*プログラムを継続することの意味

- ・すべての遺児に進学の希望をかなえること。
- ・遺児の保護者に対し支援の役割を果たす。
- ・東日本大震災を忘れないと言うメッセージ。 ※この奨学金の貫徹には、約11億円2千万円の資金が必要です。 ※「ロータリーの友」2012年8月号・2013年8月号に特集記事が掲載されています。



ニコニコBOX (松村 慎一 親睦委員)

- ☺ 藤本誠一様（卓話講師）卓話謝礼をニコニコBOXへ頂きました。
- ☺ 田中伸彦会長・酒寄好夫幹事⇒本日社会奉仕委員会委員長 藤本誠一様卓話宜しくお願ひいたします。
- ☺ 藤野豊会員⇒藤本委員長本日はよろしくお願ひします。

◆ 今回計 18,000円 累計 1,115,500円

◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 田中 伸彦 ◎ 幹事 酒寄 好夫
○ 副会長 比留間孝司 ○ 副幹事 網代 稔
□ クラブ会報委員長 宮崎 茂夫 副委員長 倉内 淳
委員 網代 雅男、野島 征、小林 邦雄、松村 慎一

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp